

日语学习

商 群 编

8

RIYU XUEXI

商务印书馆

日 语 学 习

(第八辑)

商 群 编

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街 36 号)

新华书店北京发行所发行

六 〇 三 厂 印 刷

统一书号: 9017 · 1133

1981 年 11 月第 1 版

开本 787 × 1092 1/32

1981 年 11 月北京第 1 次印刷

字数 130 千

印数 24,000 册

印张 4 2/4

定价: 0.41 元

目 录

ト、タラ条件句剖析	刘和民 (1)
传闻的表达方式	王 宏 (12)
当前日本社会中敬语的应用	丘仕俊 (18)
日语的定语结构浅谈	路 颖 (22)
ところ的意义及用法	王双印 (30)
日语复合动词例解(续)	溥 泉 (36)
日语动词可能态琐谈	杨维乔 (46)

汉字读音积微

杂谈汉字音读的几个问题	尹学义 (48)
部首名称的日语读法	郭理行 (50)
带有形式体言作主题的句子译法	宋其昌 (52)
翻译琐谈	孔 凡 (56)
从口译的笑话谈起	贾惠萱 (61)

日	日本的法定节日	李晨夫 (65)
本	民间节日“祭虫节”	何培忠 (71)
之	日本国旗的来历	安 舍 (72)
窗		

日语书信的写法	夏竹·望月藤子·张本华 (73)
---------------	------------------

82.6.17. 于津大

漫谈 日文中的逗号	辛 冰 (87)
介绍一篇关于“对象语”的论文	林孝彰 (98)

词义辨析

あける与ひらく	杨维乔 (102)
あげる、もらう与くれる	(105)
“寒い”与“冷たい”	(108)
叫ぶ、呼ぶ	(109)
チカヅク和チカヨル	孙竟光·冬梁 (111)
ばかりに与だけに	迟 军 (114)
用对比、分类的方法帮助记单词	徐传武 (115)

日语杂谈

汉字读音点滴	方铭·盛茂棣 (119)
说“先生”	蔡敦达 (122)
杂谈ば、ま两行字母音韵交替现象	尹学义 (123)
关于“礼拜”的读法	(125)
从“手洗い”谈起	彭 飞 (126)
年龄的表示法	蒋永顺 (126)
谈“国”	方明生 (130)

日本文摘

炸肉片与混种语	曾钦华 (131)
---------------	-----------

与日语类似的外来语 (131)

日造外国语与外国人 (132)



文学常识



《枕草子》简介 文洁若 (132)



作家与作品



高濂舟(节选)

森鸥外原作·李芒译·丘培培注 (134)

你知道他是谁吗? 周 祺 (147)

绕口令 姜 男 (118)

ト、 タラ 条件句 剖析

刘
和
民

连接助词ト和助动词タラ（タ的假定形）以“AトB”，“AタラB”的形式构成条件句，表示在A的条件下出现B的状态或产生B的结果。

“Aト”、“Aタラ”都可以用于以下几种场合。

（一）将来时

- （1）九時に行ッタラ間に合います。
- （2）あした試験がすんだらあそびに行こう。
- （3）もし運賃がまた上がるト，もう旅行なんかできなくなってしまう。

（二）现在时

- （4）もうここまで来タラあとは一人で帰れます。
- （5）そんなことを言われるト挨拶に困ってしまいます。

（三）过去时

- （6）先生のお宅へ伺ッタラ，先生はるすでした。
- （7）宿屋を出るトいい月夜でした。

（四）非特定时

- （8）そう知ッタラ誰でも興ざめするだろう
- （9）青と黄色を混ぜるト緑色になる。

以上所说的将来、现在、过去、非特定诸时态，是指全句（即主句谓语）的时态，非指条件句的时态。条件句作为一个从属句，自身没有时态。条件句中的ト和タラ都只表示一件事情的实现或完了，它的时态由主句决定。

ト和タラの许多习惯用法,如“～タライイ、～タラドウダ、～トイイ、～ニヨルト、ソウスルト”等等,按其不同性质可以分别归入以上几种时态。

以上所说将来时的用法,一般称为“假定条件”,现在时和过去时的用法一般称为“既定条件”,非特定时的用法一般称为“恒定条件”。本文从时态的角度分析,是因为这样便于对问题作深入一步的探讨。

尽管ト和タラ都用于以上几种场合,但出现的频度却明显不同。根据粗略统计,大致可以说:

将来时:タラ占大多数;

现在时:何者占多数不详,可能相差不多;

过去时:ト占绝大多数;

非特定时:ト占绝大多数或几乎全部。

换句话说,タラ主要用于将来时,ト主要用于过去时和非特定时。这个分布状况显示了两个词的特征。

二

将来时タラ有两种用法:(一)假设,(二)预言。

(一)将来假设。这种“A タラ”是一种设想,A 可能发生也可能不发生。它表示的意思是:“如果发生了 A 的情况的话”。

(1) 九時に行っタラまにあいます。

(10) あなたの矛でああなたの盾をついタラどうなりますか。

(11) 田舎へ行って淋しかっタラ勉強しなさい。

(12) あすね、こんな天気だっタラ、どうです、花見につれていってあげようか。

(13) この見事な寢室で眠っタラ、どんな豪華な夢を結べることだろうか。

(14) 万一遅れましタラ、おかまいなく先に出かけてください。

(15) もしわからない読者がいタラ、朗読して比べてみるといい。

(二)预言。预言的条件句“A タラ”并不包含“假如”的意思。A 是现在尚未实现但预计将来可以实现的事情。它的意思是“(将来) A 成

为现实之后”。这里的タラ约略等于テカラ即“之后”的意思。这时 A 与 B 的关系只是一前一后相继发生的关系，严格说来 A 并非 B 的条件。假设的“A タラ”可以和“もし、万一”等词语呼应，预言的“A タラ”则不会出现这类词语。以下各句都是预言的例子。试与前项例句比较，就可以发现它们的差异。

- (2) あした試験がすんダラ遊びに行こう。
- (16) スープが暖まッタラ、早くごはんを食べなさい。
- (17) 牡蠣なら駅前の開市で売ってるやろ。一休みシタラ買ってくるか。
- (18) 大きくなッタラなにをしますか。
- (19) 家に帰ッタラまたお電話します。
- (20) 車が停ッタラうしろの方のドアから順々に下りてください。
- (21) 仕事が終わッタラいっしょにデパートに寄りましょう。
- (22) 近いうちに妻がやって来ますから、そうシタラいっしょに江の島を見物しようと思います。

将来假设和预言的“A タラ B”有以下共同特点：

(一) 条件句 A 是叙述事实的。不过它不是已经实现的事实，而是设想中的尚未实现的事实。假设的 A 是也许会发生的事实，预言的 A 是预计必将发生的事实。

(二) 主句部分 B 则相反，不是叙述事实而是表明主体观念。B 是说话人的主张、判断、意志、估计、要求、命令、提议等等，句尾常采取ダロウ、ナサイ、テクダサイ、マシヨウ、ナケレバナラナイ、タイ……的形式。这是将来时“A タラ B”的一个重要特点。

三

将来时的“A ト”与“A タラ”不同。第一，它只有“假设”的用法，没有“预言”的用法。

- (2) あした試験がすんダラ遊びに行こう。
- (2)' あした試験がすんデカラ遊びに行こう。
- ×(2)'' あした試験がすむト遊びに行こう。

第二,假设的ト使用频度远低于タラ。

以下是使用ト的将来假设的句子。

(23) 早くでかけないと会社に遅れますよ。

(24) 少し早めにゆかないと座席がなくなってしまうかも知れません。

(25) 石川君が来てくれるトほんとうに助かるよ。

(26) 彼に知らせるト困ります。

(1) 九時に行くト間に合います。

(10)' あなたの矛であなの盾をつくトどうなりますか。

(13)'' この見事な寝室で眠るト、どんな豪華な夢を結べることだろうか。

试分析这些句子,可以发现一个特点:它们的主句 B 与“A タラ B”不同,是包含某种客体现象而非表明积极的主体观念的。“座席がなくなってしまう”“助かる”“間に合う”、“どうなる、こうなる”、“豪華な夢を結べる”、“困る”都是客体现象而非主体观念,不受主观意志支配。

当然,终助词よ表示主体的主张,かもしれない表示推测,だろうか表示想象,“間に合う”、“困る”表示判断(包含时枝语法所说的 0 记号),并且(1)' (10)' (13)' 就是借用前面“A タラ B”的句子,但是这些主体观念是消极的而非积极的,并且它是贯穿全句而非只同 B 的部分结合的。

(27) 四月になっタラ 咲く だろう。

(27)' 四月になるト 咲く だろう。

(27) 的ダロウ是与“咲く”结合,(27)' 的ダロウ是与“四月になるト咲く”结合,“四月になるト咲く”本身是一个客体现象。这个句子虽然形式上与“A タラ B”一样,实际上是有所不同的。

这一问题还可以从反面证明:凡是 B 系积极主体观念的不能用ト。

×(11)' 田舎に行って淋しいト勉強しなさい。

×(12)' あしたこんな天気だト花見につれていって上げよう。

×(14)' 万一遅れますト、先に出かけてください。

×(15)' もしわからない読者がいるト、朗読して比べてみるといい。

×(28) 大雨が降るト行くのはやめよう。

这些句子所以不能成立，是由于 B 表明积极的主体观念（命令、提议、要求等）。将来时假设的ト，同后面说的用于非特定时、现在时、过去时的ト一样，排斥主观性而倾向叙述客体现象。这是它不同于タラ的重要特点。

四

ト适于记述客体现象的特征，最明显地表现在“非特定时条件句”上。非特定时就是无固定的时态，不是将来也不是现在或过去。它的内容常是客观规律或者习惯性的动作、行为，一般称之为“恒定条件”。这种条件句经常用ト来表现。

(29) 日が出るト明るくなり、日が入るト暗くなります。

(30) 2に3をたすト5になる。

(31) ××の娘さんを貰うト、一つ目や三本足の子供が生まれるかもしれないんだって。

(32) 一日の食費が八ドルかかるとするト、一月には二百四十ドル必要になる勘定ではないか。

(33) 一度失敗するトどうしても臆病になるものです。

(34) 雨にぬれるトかぜを引き易くなる。

(35) この道をまっすぐ行くト、右側に銀行があります。

(36) 自分の部屋に帰るト気持が落ちつく。

(37) 毎晩十時になるト明りを消して寝ます。

(38) 目を閉じるト一緒にたたかった婦人たちの一人ひとりの顔が浮かんでくる。

这些句子，或则 A 必然导致 B（客观规律），或则表现 A 之后经常出现 B（习惯）。重要的是，B 项不允许带有主观任意性。上文所说将来的“A ト B”适于表现客观现象，和本节恒定条件的ト在性质上是一致的。例如“早くでかけないト会社に遅れますよ”、“早くでかけな

い”和“遅れる”之间存在必然的因果关系。

严格地说，タラ不能用于表现非特定时刻的恒常条件。尽管有些句子表面上和ト型句极其相似，但是实质不同。

(35) この道をまっすぐ行くと右側に銀行があります。

(35)' この道をまっすぐ行ったら右側に銀行があります。

(39) 二月になると雁がやってくる。

(39)' 二月になったら雁がやってくる。

(40) 夏休になると海水浴にでかける。

(40)' 夏休になったら海水浴にでかける。

比较这些句子就可以发现，“A ト B”说的是不论过去、现在、将来总是如此——非特定时刻的规律或习惯，而“A タラ B”说的则是此时此地的事情，一时一地的事情。(35)是“不管是谁，不管什么时候，从这条路向前一直走就会看到右边有一个银行”；(35)'说的是“你现在从这条路一直向前走，你就会看到右边有一个银行。”(39)是“每年到了二月雁就来”；(39)'是“过些时候到了二月雁就来了”(40)是“我每年暑假都去洗海澡”；(40)'是“今年暑假我要去洗海澡”。可见这里的“A タラ B”其实是将来时的假设或预言，并非是非特定时刻的恒定条件。前文例句(8)估放在非特定时刻项下，实际上是不属于此项的。

五

现在时和过去时的“A ト B”、“A タラ B”与以上不同的是，这里的A(除“反事实假设”之外)是已经实现了的事实而非想象中的事实。现在时是正在实现或刚刚实现的事实，过去时是从前已经实现的事实。

现在时的“A ト B”、“A タラ B”有以下特点：

(一) B的谓语为现在时或将来时。这一点与将来时的B相同而与过去时的B不同。

(二) 现在时“A タラ”一种用法是表示某种意义上的原因(～ノデ)；另一用法是表示假设。表示假设时是违反事实的假设，即“反事实假设”。现在时“A タラ”没有象将来那样的相当于“テカラ”的用法。

(三) 现在时的“A ト”只表示某种意义上的原因(～ノデ)，没有表示

假设的用法。

(四) “A ト”和表示ノデ之意的“A タラ”常与指示词(コ、ソ、ア)相结合。

(五) 现在时的“A ト B”、“A タラ B”, B 是表示主体观念(消极或积极的)而非叙述客观事实的。这一点与将来时的用法相同而与过去时的用法不同。

(六) “A タラ B”和“A ト B”不同处在于, 前者可以表示积极的主体观念(命令、意志、愿望、提议等), 后者则不能。这一点也同将来时的用法相同。

以下(41)至(45)是带有ノデ之意的句子,(46)以下是“反实假想”。

(41) そんなに暑かったら窓をあければいいのに。

(4) もうここまで来たらあとは一人で帰れます。

(42) これだけの金があつたらもう大丈夫だ。

(5) そんなことを言われるト挨拶に困ってしまいます。

(43) それだけとれるトもう沢山だ。

(44) ここまで送ってもらうトあとは一人で帰れます。

(45) もし君が言ってくれなかったら、わたしは本当にすっかり忘れてしまうところだった。(这个句子的主谓语虽有助动词タ, 但不是过去时, 是现在时)

(46) ぼくが君だったら、このようにはしない。

(47) 子供がいなかったら、とてもアメリカへ行く気を起こしていないと思うわ、私も。

(48) 姉が生きていたら、こんな淋しい思いをしないわよ。

如上所述, “反实假想”的句子不用ト, 只用タラ。其他句子两者皆用, 但何者占多数, 因没有足够的统计数字, 不能确定。

六

过去时的“A ト B”、“A タラ B”是叙述过去发生的事实的, 因此, B 的谓语必然是过去时。除“反实假想”用タラ不用ト, 其他的ト占绝大多数。

分析过去时“A ト B”的句子,可以发现以下特点。

(一) 当条件句 A 的主语与主句 B 的主语为同一主体,而 A 和 B 的谓语又都是意志动作时,ト 只表示单纯的“之后”的意思,即表示 A 和 B 是先后相继发生的动作。这时的ト 接近表示继起的テ或テカラ。(但是不等于テ。同テ 比较不在本文范围,这里不谈)所以,严格说来,这并不算是“条件句”。

(49) ゆずりするト 列車はゆっくり動き始めた。

(50) 列車はゆずりするト 停ってしまった。

(51) 大尉の襟章と袖章を脱すト 道雄はそっと水に捨てた。

(52) 食事をすますト 二人は立ち上って帰り途についた。

(53) 男は私から双眼鏡を受け取るト、南の空に目を向けた。

(54) 男は双眼鏡を眼から離すト、栗の木の電話機に飛びついた。

(55) 跣でキッチンにはいるト ぐく馴れた態度で料理を始め、鍋を火にかけるト、部屋に戻ってきてベッドに腰を下ろした。

(56) 麗子はハンドバッグをあけるト、十ドル紙幣を十枚数え、ちょっと考えてまた二枚足して私に渡した。

(二) 当 A 和 B 非同一主语时,有时也仅只表示相继发生的事情或そのときの意思。(但这时ト 不能换成テ)

(57) 林をぬけるト、やや広濶な草原があった。

(58) 溜息をついて私が読み終わるト、母はもどかしそうに私にせついて内容を知りたかった。

(59) 船が埠頭を離れるト、間もなく私はいつまでも祖母に手を振っているメアリイをうながして船室に入って行った。

(60) 屋のお客が終わるト、私はそっとキッチンに降りて行って…

(61) 「明るすぎる、おかしいぞ」誰かが言ったと思うト、青い光が閃き、列車の中は再び闇になった。

(三) A 与 B 非同一主语时,更多的是表示 A 是引起 B 的原因或前提条件。

(62) 風が来るト、桜が少し散った。

(63) 坐っているト、川風が寒い。(此句与(65) (66)的 B 的谓语时

态是过去时,即所谓“历史性现在”)

- (64) 少し窓を上げて見るト、「卵はいりませんか、たまご、たまご」
風と一緒に呼び声が入ってきた。
- (65) 雑誌の表紙を開くト、写真に梅の花が咲いている。
- (66) 桜の花は間近く寄って見るト、花びらの肉も色も繊細で痛痛
しいほどデリケートだったが、少し離れてみるト、花霞とは
よくも云ったものだと感じられる。
- (67) 日本から米をもってきたというト、トムはひっくりかえるほ
ど喜んで、醤油を持って来たか、では鶏卵を買って来ようと云
ってとび出していった。
- (68) 急に電気がつくト、部屋中が黄色く染まって現れた。
- (69) くどくどと私が話出すト、アリリンは手で制した。

(四) A 与B 虽是同一主语,但有一方(A或B)的谓语不是意志动作时,A 与B 关系是A 引出B(A 是B 的原因或前提)。这时的ト约略相当于表示原因的デ。

- (70) 母は私を認めるト、大きな顔を開けひろげて笑いかけてきた。
- (71) 竹子はキッチンの窓口で私を見かけるト、傍へ寄って来て愚痴をこぼした。
- (72) 学校から帰えって家の中に母のいないことを知るト、私は暗い気持がした。
- (73) いざ日本を出るときをまっているト、何もかも懐かしかったのだ。
- (74) 麗子は私を認めるト、慌てて何かを枕の下にかくし、はにかんでみせた。

过去时的“A ト B”, A、B 两项的关系是偶然性的,只是限于一时一事的。上面所说的(一)(二)(三)(四)几种场合都是如此。这不仅与非特定时ト(表示客观规律性或习惯)极不相同,并与将来时的ト(A 与B 的关系不全是偶然)也不全一样。这是因为过去时的“A ト B”是叙事,而叙事必然是某时某地的某事,具体而非抽象,偶然而非必然。

七

过去时“A タラ B”可以表现假设，即过去时的“反实假想”——假如当时如何如何，其结果就可能是如何如何，虽然实际上并未如此。

(75) 病院も医者もない田舎にいたラあるいは死んでいたかもしれない。

(76) しかし、綱張のなかにあの人波を通しタラ、それこそ、えらい怪我人を出したろう。

(77) 一袋二千円の飴、馬鹿みたいだろう。でもみな無事だとわかってタラ、無理してももっと買って来るんだった。

(78) ヴィナスは両腕でなく他の肉体の部分が失われていたとしタラ、ぼくがここで述べている感動は、恐らく生じなかったにちがいない。例えば、目がつぶれていたり、鼻が欠けていたり、あるいは、乳房がもぎとられていたりして、しかも両腕が、損なわずにきちんとついていたとしタラ、そこには、生命の変幻自在に輝きなど、たぶんありえなかったのである。

过去时反实假想的 B 句谓语多为推测、估计的形式，如ダロウ、カモシレナイ、ニチガイナイ、ハズダ等等。

过去时“A タラ B”的另一用法是叙述过去发生的事实。连接 A 与 B 的タラ约略等于“…タ。ソノトキ…”，テカラ的意思，A 不一定必须是 B 的原因或前提条件。叙事的“A タラ B”频度较之“A ト B”要低得多，可能只有后者的百分之几。

(79) 便所に行くのかな、と思って見ていたラ、そうでもないらしい。

(80) この間そいつと電話で話しタラ、いまのようなことを言われたんですよ。

(81) 京都へ帰って母さんと二人で暮らすようになったラ、たちまち肥えた。

(82) 急に明が消えたと思っタラ、停電でした。

(83) 戦争花嫁なんてどうせパンパン上りじゃないかって云ったの

がいだわよ、私が手ひどく断わったらさ。

- (84) T という作家に、八十枚の中編小説を依頼し、承諾を受けたので、締切日を待っていたら、その日に貰ったのは何と十八枚であった。

(85) 金があるとみな言うが、掘ってみたら何もなかった。

(6) 先生のお宅へ伺ったら、先生はるすでした。

过去时“A タラ B”的 A 和 B 不能是同一主语的意志性动作。

(19) 家に帰ったらまたお電話します。(将来时预言)

×(19)’ 家に帰ったらもう一度電話した。(过去时叙事)

(86) 本屋に行ったら地図を一枚買ってきてくれ。(将来时假设)

×(86)’ きのう本屋行ったら地図を一枚買ってきた。(过去时叙事)

例句(81)前后主语是一个，但 B 项谓语“肥えた”不是意志动作。

(A 项的“暮すようになる，也不是意志动作)

タラ后面的 B 往往带有意外的意思，同原来的期望相反的意思，或者有所发现的意思。例如，

(85) 掘ってみたら(期待に反して)何もなかった。

(85)’ 掘ってみると(果して)金が出てきた。

(84)’ …締切日を待っていたら，(驚いたことに)その日に貰ったのはなんと十八枚であった。

(84) …締切日になると、注文通りの八十枚の原稿を貰った。

用タラ的句子，B 项可以包含“驚イタコトニ”、ハカラズモ这样的语气，并且比较明显。用ト的句子虽然也不排除这样的语气，但是不如タラ那样明显。

×

×

×

通过以上分析，可知条件句中ト、タラの用法是比较复杂的。进一步的探讨还需要研究大量的例句。这里仅提出一些初步意见，希望得到批评指正。

传闻的表达方式

王 宏

日语里表示传闻，在句末接そうだ、という、とかいう、とのことだ、んだって、とさ等来表达。汉语则在句首用“据说…”“听说…”“说是…”等来表达。

这里所说的传闻，除“听别人说的话”以外，还包括“外来的消息”，例如：报刊、广播、电视所报导的内容以及公布的各种调查内容等。表示传闻的句子，常在句首用“～によると”、“～（の話）では”来说明消息来源。有时候这类句子带有说话人对传话的内容不能完全负责的语气。

上列传闻的表达方式，有的用于口头语，有的用于书面语，有的可以两用，有的带有某种语气，用法上略有区别。但它们都接在句末活用词终止形后面，它们都没有否定形式，也不能构成疑问句。现着重于它们之间的区别，分述其用法如下：

一、そうだ

传闻助动词そうだ在正式场面上口头语里使用，也用于口头语化的书面语里。绝大多数用そうだ结句，少量用そうで作中顿。女性还用そうよ结句。そうだ后接连接助词构成从句，仅限于后接から以及表示前提条件的が、けれど（も）の場合。没有过去时そうだった的说法。

○林さんは今日会社を休むそうだ/听说老林今天向公司请假。

○長期予報によると，今年の冬は例年より寒いそうだ/据远期（气象）预报，今年冬季比往年冷。

○祖父の話では，昔はこの辺は一面の林だったそうです/据祖父讲，从前这一带是一片树林。

○山田さんはひどく頭が痛むそうで，先に帰りました/山田说是头很痛，先回去了。